

機関番号：32612

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20401017

研究課題名（和文） スペンサーコレクション本の基礎的研究

研究課題名（英文） Fundamental research into The Spencer Collection

研究代表者

石川 透 （ISHIKAWA TOORU）

慶應義塾大学・文学部・教授

研究者番号：30211725

研究成果の概要（和文）：

平成20・21・22年度の3年度に渡り、ニューヨーク公共図書館スペンサーコレクションでの調査研究を行った。その際、反町茂雄氏『ニューヨーク公立図書館スペンサーコレクション蔵日本絵入本及絵本目録』（昭和53年、弘文荘刊、以下、「反町目録」と略称する）を使用し、それが刊行された時点での全貌を把握した上で、研究代表者と連携研究者の4人が、それぞれの専門分野の担当となり、実際の調査の中心となった。その分担当は、石川透が物語・説話関係、佐々木孝浩が歌仙関係、寺澤行忠が和歌関係、佐藤道生が漢籍関係ということになった。

反町目録に掲載されている作品数は相当数に及び、内容も様々である。それぞれの作品を4人の担当で分け、下調べをした上で、スペンサーコレクションにおいて、調査・撮影を行うのである。この調査過程において、「反町目録」に掲載されていない収蔵品の存在も明らかになり、より多くの所蔵本を調査することができたのである。

この研究の報告会としては、在米のコレクションについての報告会を兼ねた、奈良絵本・絵巻国際会議を、平成20年度にはワシントン・フリー美術館においてワシントン大会を、平成22年度にはニューヨーク・メトロポリタン美術館においてニューヨーク大会を開催した。本来ならば、ニューヨーク公共図書館で開催できればよかったのであるが、残念ながらニューヨーク公共図書館には、コレクションの内容を検討するスタッフが存在せず、最も近い施設でスタッフの存在するメトロポリタン美術館やフリー美術館を使用したのである。これらの集会については、別途紹介予定であるが、盛会の内に、有意義に終えることができた。

研究成果の概要（英文）：

It crossed in three in Heisei 20, 21, 22, and a surveillance study in The Spencer Collection of The New York Public library was done. On that occasion, four of the research representative and the connection researcher became the charge of each specialized field, and became the center of the actual investigation after the whole affair at the moment when that is published by using Mr. Shigeo Sorimachi 'Catalogue of Japanese Illustrated Books and Manuscripts in The Spencer Collection of The New York Public Library' was grasped. As for that sharing, the books related to the story are Ishikawa, the books related to the kasen are Sasaki, the books related to the tanka are Terazawa, the books related to the kanseki are Sato. And, as for the number of works which is on the catalog, contents vary in the number very much, too. Investigation, photography is done in The Spencer Collection when each work is inquired with four people in charge beforehand as to the division. The existence of 収 warehouse goods which are not on "the anti-town catalog" became distinct, too, and it could investigate more possession books in this investigation process. Washington convention was held as a report meeting of this research in 20nd year of Heisei, and New York convention was held as a report meeting of this research in 22nd year of Heisei. As for these meetings, though it was intended to be introduced separately, it could be finished meaningfully in the successful meeting.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	4,300,000	1,290,000	5,590,000
2009年度	3,800,000	1,140,000	4,940,000
2010年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
年度			
年度			
総計	12,600,000	3,780,000	16,380,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：日本文学

キーワード：スペンサーコレクション・ニューヨーク公共図書館・奈良絵本・絵巻・国文学・美術史・室町物語・説話文学

1. 研究開始当初の背景

ニューヨーク公共図書館スペンサーコレクションは、一部の研究者には注目されていたものの、その蔵書は多岐に及び、なかなか、その全体像を把握できていなかった。その全体像の把握と個々の作品の研究の進展を目指したのが本研究である。

2. 研究の目的

本研究は、3年の歳月をかけて、ニューヨーク公共図書館スペンサーコレクションの全貌を、慶應義塾大学の斯道文庫で書誌学を修得した研究者を中心に調査するとともに、各作品の解題を作り、許可されている簡易撮影を行い、パソコンやDVDのディスクに保存して、さまざまな観点からの研究を行った上で、スペンサーコレクション日本部門の解題図録公開の基盤作りをしたい。また、許可が下りれば、ホームページ上に資料の全文を掲載することを目指したい。この作業を経ることによって、国内外に所蔵される同題の文献との比較研究が容易になり、個々の作品の研究が、国文学、あるいは、美術史・日本史の立場から進められることになるのである。これらの発展的な研究を、慶應義塾大学以外の各分野の研究者と共同で行い、最終的には、絵入り本全体の意義付けや詳細な分類をし、調べ得た絵入り本のすべてを記した解題や目録の作成、さらには挿絵の紹介等を網羅的に行うことを目指している。

3. 研究の方法

日本において、事前に蔵書の情報を調べた上で、ニューヨーク公共図書館へ赴き、許可が下りている作品については、デジタルカメラでの撮影を行う。そして、日本にその情報を持ち帰り、さまざまな作品との比較研究を行うのである。

4. 研究成果

基本的には、これまで、ほとんど研究されていなかった作品について、その制作の時代や作者を特定することや、内容についての紹介を、さまざまな機会を通して行った。

例えば、小型の奈良絵本である『さざれ石』は、署名や奥書がない本であるが、その本文と挿絵は、貞享元禄頃に活躍した女流往来物作家である、居初つなが、本文も挿絵も作成したものだと断定できる。これは、これまでの奈良絵本や絵巻の蓄積したデータを利用し、それらと比較校合した結果、得られた結論である。また、奈良絵本『源氏物語』五十四帖も、同様に、居初つなの作品であることが断定できる。居初つなは、これまで国文学や美術史からは注目されてこなかったが、三百年以上前に、挿絵も本文も作成する、いわゆる女流絵本作家が存在したことは驚きである。今後研究されるべき人物として、とても重要な存在であることがわかってきたのである。

また、居初つな以外でも、少なくとも筆跡を特定できる人物の作品が存在した。例えば、朝倉重賢は、江戸時代前期の奈良絵本・絵巻本文を大量に筆写・制作していた人物である。スペンサーコレクションには、絵巻『大職冠』三軸があり、その末尾に「市丞朝倉氏重賢書之」の奥書があり、本文と同筆であることから、信じることができる。そして、署名はないものの、スペンサーコレクションには、絵巻『張良』二軸や、『酒吞童子』一軸のように、明らかに同筆の作品が存在しているのである。朝倉重賢の筆跡は絵巻ばかりではなく、やはりスペンサーコレクションが所蔵する豪華奈良絵本『文正草子』三冊や『蓬萊山』二冊にも見られるのである。さらには、少し書写時期がずれると思われる作品に、絵巻『若みどり』が存在しているのである。朝倉重賢の詳しい研究は、今後なされるであろうが、スペンサーコレクション本の存在によっ

て、その活動がより深く見えてきたのである。
この朝倉重賢の作品には、仮名草子最大の作家浅井了意が書写した絵巻群と重なる作品が多い。ということは、浅井了意の書写活動とも深く関わる人物ということになり、このような筆跡の調査が、文学活動の解明へと発展する可能性が大きいことを意味することになる。

さらには、スパンサーコレクションには、『太平記絵巻』二軸が存在し、日本の絵巻物の歴史の中でも、特に美しく作られた作品として知られている。この絵巻は、絵の中に詞書が存在知ることから、絵師と書家が近い関係であることを示す作品ということもできる。『太平記絵巻』は本来十二巻の作品であったと思われ、残りの巻々は、各地に分蔵されている。近年、この『太平記絵巻』と近似した『源平盛衰記絵巻』の存在が報告され、その本文は、『太平記絵巻』の本文と同筆である。その『源平盛衰記絵巻』は、水戸徳川家の所蔵だったという。ということは、外見上近似している『太平記絵巻』も、水戸徳川家か、それと同クラスの大名の所蔵であったことが想像できるのである。このように、『源平盛衰記絵巻』『太平記絵巻』といった豪華絵巻の研究もやっと研究状況が整ってきたが、スパンサーコレクション本は、その一翼を担う存在なのである。この豪華絵巻の本文の筆者の名前はまだわからないが、同筆の資料として、スパンサーコレクション所蔵の『夜討首我』一軸、『鶏鼠物語』二軸、『文正草子』三軸をあげることができる。

本文の筆者という観点だけでなく、以上のように、さまざまなことが、この研究によって明らかになってきた。そして、その研究は、その本文の問題だけでなく、その作者や筆者の問題へと発展していくことが明らかなのである。

スパンサーコレクション本の研究は、本蔵書の整理にとどまらず、さまざまな分野、国文学・国語学・日本史・美術史や、多くの文化の研究に役立っていくことになるのである。その整理の初期段階の目的は達成することができた。それらの細部の報告については、以下の発表論文等に公刊している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 7件)

石川透、赤木文庫・横山重について、名だたる蔵書家、隠れた蔵書家、査読無、2010、57-64

石川透、聖徳大学所蔵の絵巻をめぐって、奈良絵本・絵巻研究、査読無、8巻、2010、24-25

石川透、絵入りテキストの物語史をめぐって、中古文学、査読有、86巻、2010、35-38

石川透、伊勢物語における奈良絵本・絵巻、伊勢物語創造と変容、査読無、2009、207-220

石川透、奈良絵本・絵巻制作の環境、日本文学、査読有、58-7巻、2009、49-55

石川透、フォッグ美術館蔵『小易物語』の印記、古典資料研究、査読無、20巻、2009、9-11

石川透、奈良絵本・絵巻の制作者、居初つな、奈良絵本・絵巻研究、査読無、6巻、2008、30-43

[学会発表](計 3件)

石川透、絵入りテキストの物語史をめぐって、中古文学会、2010年5月22日、慶應義塾大学

石川透、CBL蔵の奈良絵本・絵巻、物語絵研究会、2009年9月18日、國學院大学

石川透、フリーア美術館蔵『酒呑童子』絵巻類について、奈良絵本・絵巻国際会議ワシントン大会、2009年3月27日、フリーア美術館

[図書](計 3件)

石川透、慶應義塾大学絵入り本研究會、中古文学解題図録、2010、100

石川透、三弥井書店、奈良絵本・絵巻の展開、2009、540

石川透、三弥井書店、広がる奈良絵本・絵巻、2008、282

[産業財産権]

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

石川 透 (ISHIKAWA TOORU)
慶應義塾大学・文学部・教授
研究者番号：30211725

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者

佐藤 道生 (SATO MICHIO)
慶應義塾大学・文学部・教授
研究者番号：60215853

佐々木 孝浩 (SASAKI TAKAHIRO)
慶應義塾大学・斯道文庫・准教授
研究者番号：20225874

寺澤 行忠 (TERASAWA YUKITADA)
慶應義塾大学・経済学部・教授
研究者番号：80101880